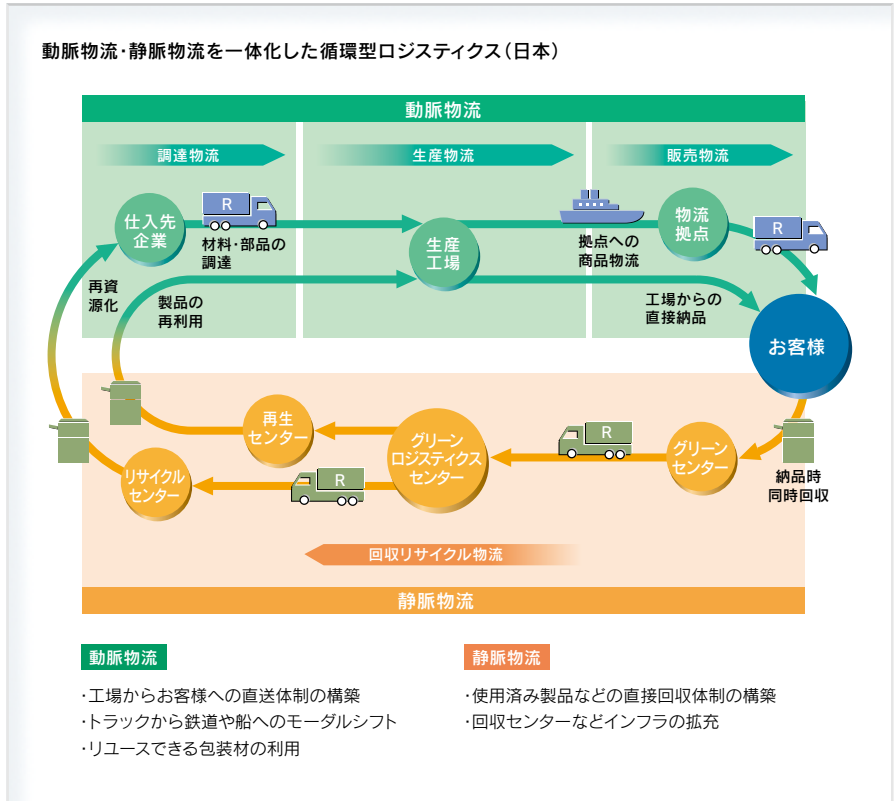


グローバルにSCMの最適化を図り、 物流におけるCO₂とコストの削減に取り組んでいます。

持続可能な社会を実現するためには、物流活動から排出されるCO₂の削減は特に重要な取り組み課題です。企業としてこの課題を解決していくためには、CO₂の削減と同時にコストの削減も進める必要があります。そのためにも、物流における改善テーマを明確にし、物流コストとCO₂を同時に可視化し改善活動を行っています。また、改善事例はグループ内で迅速に水平展開することで効果の拡大につなげています。リコーグループでは、「モーダルシフト」や「お客様への直送化」、「倉庫間物流の効率化」など、グローバルSCM(サプライチェーン・マネジメント)の最適化を図り環境負荷低減をさらに進めていきます。



物流のCO₂を算定する 情報システム構築

《リコーロジスティクス/日本》

省エネ法改正により、荷主に物流の省エネルギー義務が課されました。リコーロジスティクスは、物流事業者として、物流のCO₂排出量を算定する情報システムの構築を進めています。改良トンキロ法*に基づいてCO₂排出量を算定するために、1輸送ごとに発着点間の距離、重量、車種、使用燃料、積載率の情報を把握できるようにしました。取得したデータは、省エネルギーはもちろん、物流改善の情報としても活用されます。今後は、把握した情報を荷主に提供するとともに物流改善のポイントを提案していきます。

* 改正省エネ法で採用されている物流活動に伴うCO₂排出量の算定方法。

①リコーロジスティクスの輸送におけるCO₂、NO_x、SO_x排出量

	CO ₂ (t)	NO _x (t)	SO _x (t)
2004年	1,451.0	2.8	0.4
2005年	1,467.7	2.8	0.4
2006年	1,368.0	2.6	0.4

INTERVIEW

社員に聞く 社用車の集中グリーン購買

社用車の集中グリーン購買を推進し、 CO₂排出量と燃料コストを削減。



リコーヨーロッパ購買担当
Tom de Bruin

欧州のリコーグループでは、2003年に社用車の集中グリーン購買を開始。今後2年間で、4,000台を低燃費・低公害車に切り替えていきます。

欧州34カ国の販売会社が一体になって推進

欧州の販売統括会社リコーヨーロッパでは、欧州34カ国の販売会社の社用車、ITシステム、携帯電話などの集中グリーン購買を推進しています。欧州のリコーグループ販売会社は、一人あたりのCO₂排出量を年間1%削減することを目標としており、リコーヨーロッパでは、目標達成に向けて、CO₂発生量の50%を占めるとされる営業担当者やサービス担当者が使用する社用車のCO₂排出量削減が不可欠であると判断しました。2003年に、ディーゼル車のフィルターや燃費、CO₂排出量に関する車の購買基準を設定し、社用車の集中グリーン購買をはじめました。2007年夏にはさらに高い基準を設定する予定です。各販売会社はこの基準に基づいて、経済的で、低燃費・低公害の車両を導入することで、CO₂排出量削減と燃料コストの削減を図っています。現在欧州のリコーグループでは約8,000台の社用車を使用しており、今後2年間で4,000台を順次、低燃費・低公害車に切り替えていく予定です。

環境経営の考え方

特集/環境経営の環を拡げる

製品に関する取り組み

事業所

省エネルギー・温暖化防止

環境経営の基盤